

YES! AOMORI

Profile
株式会社マエダ
マエダストア八重田店
きた ばたけ あ ゆみ
北富 亜弓さん

青森公立大学卒業後、2012年、株式会社マエダに入社。本部・青森市内の各店舗での勤務を経て、現在、マエダストア八重田店のグロサリー部門に勤務。産休・育休、地域限定勤務の制度などを活用し、同社勤務の夫と協力しながら小学1年生の娘の育児や家事、仕事に奮闘中。

夫婦の役割分担は？

私は、食事の支度と掃除、休みの日は洗濯を担当しています。夫は、夜勤で毎朝4時半に帰宅するので、ゴミ出しとお風呂掃除、洗濯、それと小学1年生の娘が登校する際、お見送りしてくれています。毎週ではありませんが、日曜日に夫婦で休みを合わせ、家族3人で外出するなど、家族と一緒に過ごせる時間を大切にしています。

Q3

子育てで困ったときは？

夫の実家近くに家を買ったので、娘が熱を出した時などは義母に面倒をみてもらっています。親が近くにいると、心強いし安心ですね。以前、通っていた保育園は休日保育制度があり、8時～18時まで預かってくれたので、夫婦ともに日曜日が休めない日は、本当に助かりました。現在は、放課後に児童館に通っています。

Q1

今の会社に就職した理由は？

自然が豊かで、好きなねぶた祭りがある青森を離れたくなかったため、もともと地元就職志望でした。当社は、地域密着型スーパーマーケットとして地域の食や暮らしを支え、最近では、買物弱者をサポートするために過疎エリアにも出店しています。地域の人の役に立てる仕事、その取組に共感し、自分も一緒に働きたいと思ったのがきっかけです。



仕事のやりがい？

私は、主に商品の発注・品出し、売り場づくりを担当しています。なかでも、売り場づくりは担当者のセンスが問われ、さらに売り上げにも関わってきます。当店では売り場づくりに工夫を凝らし、売り上げアップに貢献した社員を表彰する制度があり、私も何度か入賞しました。自分の努力が認められた！と感じる瞬間でもありますね。

Q2



青森県立浪岡高等学校 2年
左: 佐藤 杏奈さん
右: 坂本 晃渉さん

Q4

高校生へのメッセージ

大学時代は、アルバイト、遊び、登山、ねぶたの跳人など、いろんなことにチャレンジし、そうした体験を通して得たものがたくさんあります。皆さんも広い視野を持って将来の暮らしについて考えてみてほしいと思います。青森県は子育て支援に力を入れてますし、自然も豊かなので、のびのび子育てできる環境が気に入っています。

Q5

子育ても、仕事も。青森なら安心して両立できる!

子どもが預けられる

待機児童数

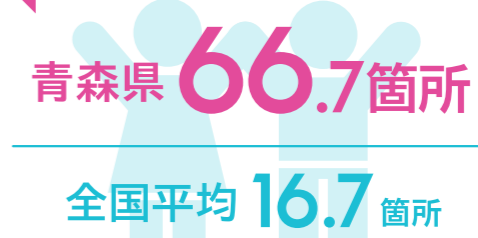


保育園に入所できない待機児童は全国で2,680人
出典:こども家庭庁「保育所等関連状況取りまとめ」(令和5年4月1日)

都会では、保育園の空きが少なく、仕事と両立が難しい...でも青森なら!?

認定こども園が多い

認定こども園認可・認定件数
(0~5歳人口1万人あたり)

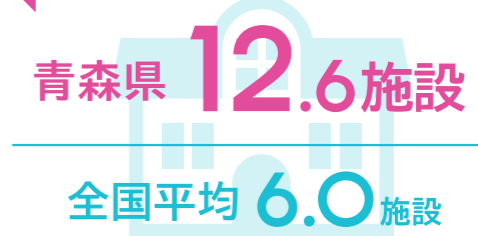


※こども家庭庁公表資料「都道府県別の認定こども園の数の推移」及び総務省「令和2年国勢調査人口等基本集計」を基に算出

親御さんにとって暮らしやすい保育システムが万全!

延長保育が充実

延長保育実施施設数
(6歳未満の子どものいる一般世帯千世帯あたり)



※厚生労働省「令和4年社会福祉施設等調査」及び総務省「令和2年国勢調査人口等基本集計」を基に算出

仕事の都合で遅く帰っても対応してくれる施設が多いので安心!

SENPAI INTERVIEW